

**別表1 新学術領域研究（研究領域提案型）のうち「公募研究」を募集する研究領域一覧
（18研究領域）**

注)各研究領域の概要については、「別表2 新学術領域研究(研究領域提案型)の研究概要」(18頁～26頁)を確認してください。

番号	領域 番号	研 究 領 域 名	領 域 略 称 名	領 域 設 定期 間	公募研究 の期間	件数 (程度)	単年度当たりの 応募金額(1年間)	概要 の頁
1	5001	都市文明の本質:古代西アジアにおける都市の発生と変容の学際研究	西アジア都市	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	9 8	200万円以内 100万円以内	18
2	6001	ハイドロジェノミクス:高次水素機能による革新的材料・デバイス・反応プロセスの創成	ハイドロジェノム	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	12 3	200万円以内 150万円以内	18
3	6002	新しい星形成論によるパラダイムシフト:銀河系におけるハビタブル惑星系の開拓史解明	星惑星形成	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	4 12 13	400万円以内 200万円以内 100万円以内	19
4	6003	ニュートリノで拓く素粒子と宇宙	ニュートリノ	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	2 7 10	300万円以内 200万円以内 100万円以内	19
5	6004	ミルフィーユ構造の材料科学-新強化原理に基づく次世代構造材料の創製-	MFS材料科学	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	2 13 5	500万円以内 300万円以内 200万円以内	20
6	6005	量子クラスターで読み解く物質の階層構造	クラスター階層	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	3 9 10	350万円以内 250万円以内 100万円以内	20
7	6006	ハイレントロピー合金:元素の多様性と不均一性に基づく新しい材料の学理	ハイレントロピー	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	8 4 4	400万円以内 250万円以内 200万円以内	21
8	6007	宇宙観測検出器と量子ビームの出会い。新たな応用への架け橋。	量子ビーム応用	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	4 4 6 4	500万円以内 300万円以内 200万円以内 100万円以内	21
9	7001	マルチスケール精神病態の構成的理解	マルチスケール脳	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	27	300万円以内	22
10	7002	配偶子インテグリティの構築	配偶子構築	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	3 8	600万円以内 400万円以内	22
11	7003	遺伝子制御の基盤となるクロマチンポテンシャル	クロマチン潜在能	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	12	400万円以内	23
12	8001	ケモテクノロジーが拓くユビキチンニューフロンティア	ケモユビキチン	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	12 12	300万円以内 200万円以内	23
13	8002	時間生成学—時を生み出すところの仕組み	時間生成学	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	10	270万円以内	24
14	8003	ソフトロボット学の創成:機電・物質・生体情報の有機的融合	ソフトロボット学	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	12	500万円以内	24
15	8004	ゲノム配列を核としたヤボネシア人の起源と成立の解明	ヤボネシアゲノム	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	10 10	400万円以内 200万円以内	25
16	8005	植物の力学的最適化戦略に基づくサステナブル構造システムの基盤創成	植物構造オプト	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	10 4	400万円以内 200万円以内	25
17	8006	発動分子科学:エネルギー変換が拓く自律的機能の設計	発動分子科学	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	20	300万円以内	26
18	8007	シンギュラリティ生物学	シンギュラリティ	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度	2年間	5 22	400万円以内 250万円以内	26